

・・・大田区・・・

人に優しい、まちに優しい、技術・技能及び経営に優れた

優工場

令和7年度



株式会社渡辺精機

株式会社北海鉄工所

信和パーツ株式会社

三和打抜工業株式会社

有限会社里中精機

株式会社グーテンベルク
大肯精密株式会社

電化皮膜工業株式会社

株式会社三美テックス

広沢電機工業株式会社

ゆうこうじょう 優工場とは?

大田区の優れた工場を“優工場”として認定し、
その中で優秀な工場を表彰する制度です。

大田区の優秀な工場を表彰することによって、大田区の工業に従事する人のやりがい、生きがいを引きだすとともに大田区工場の優秀性を内外にアピールし、大田区工業の振興を図ります。

特に優れた工場には部門賞として表彰を行っています。

「優工場」の特徴



人に優しい

- そこで働く人に優しい、働きやすい工場
- 工場が安全で快適
- 社員の福利厚生への配慮、やりがい創出など



まちに優しい

- 近隣の住民、周辺のまち並みに優しい住工調和の工場
- 周辺環境への配慮
- 緑地整備、地域活動への取組など



技術・技能及び 経営に優れた

- 高度な技術・技能を有し、経営状態も良好である工場
- 独自の技術・技能がある
- 成長性・将来性が認められるなど

Contents

優工場とは	1
「優工場」認定にあたって	2
審査委員長 講評	3
■ 総合部門賞／まちに優しい部門	
広沢電機工業株式会社	5
■ 総合部門賞／人に優しい部門賞	
株式会社三美テックス	7
■ 審査員特別賞	
電化皮膜工業株式会社	9
■ 認定工場	
大肯精密株式会社	11
■ 認定工場	
株式会社グーテンベルク	13
■ 認定工場	
有限会社里中精機	15

■ 認定工場	
三和打抜工業株式会社	17
■ 認定工場	
信和パーツ株式会社	19
■ 認定工場	
株式会社北海鉄工所	21
■ 認定工場	
株式会社渡辺精機	23
認定工場MAP	25



令和7年度 大田区「優工場」認定にあたって

大田区「優工場」は、令和7年度に新たに10社を加え、これまでに延べ319工場を認定してまいりました。本制度は、ものづくり大田を象徴する取組として広く認知されており、認定を契機とした新規取引の拡大や社員の士気向上などのお声も多くいただいております。近年では、動画やパンフレット等のPRツール作成に加え、大田区中小企業融資あっせん制度におけるチャレンジ企業応援資金の優遇や求人情報サイト「おしごとナビ大田区」への無料掲載など、認定特典内容の充実を図っております。

大田区基本構想では、「豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち」を基本目標の一つに掲げています。とりわけ、ものづくり産業は、本区の発展を支えてきた重要な基盤であり、区民の暮らしや地域経済と深く結びついています。循環型社会への対応、人材確保、国際的な競争環境の変化など、ものづくりを取り巻く環境が大きく変化する中にあっても、挑戦を続ける企業の存在は、地域の活力そのものです。

「優工場」各社においては、工程管理の最適化や省エネルギー設備への更新、就業環境の改善を継続的に行なうなど、環境配慮と成長の両立を目指した取組が進められているほか、製造される製品そのものが省エネルギーの実現に寄与している企業もあります。こうした日々の創意工夫は、企業の技術力や人材力の向上、さらには地域産業の活性化にもつながるものであり、次世代へと受け継がれる産業基盤の強化に大きく寄与しています。

区といたしましては、「優工場」が区内ものづくり企業の牽引役として、企業間連携や技術交流を促進するとともに、地域や若い世代とのつながりを広げていかれることが期待しております。そこから生まれる貴重な提案や課題に対して、今後も、大田区産業振興協会をはじめとする関係機関と連携し、サポート・支援を進めてまいります。

結びにあたり、「優工場」の認定にご尽力いただいた審査員のみなさま、ならびに日々挑戦を続け、地域の未来を支えておられる企業の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

大田区長

東京商工会議所大田支部 会長

鈴木 晶雅

浅井 隆

一般社団法人大田工業連合会 会長

公益財團法人大田区産業振興協会 理事長

広瀬 安宏

川野 正博



令和7年度 大田区「優工場」審査委員長講評

今年度も多く企業から応募があり10社を「優工場」に認定した。このなかから総合部門賞、人に優しい部門賞、まちに優しい部門賞の受賞企業を選定した。その結果、総合部門賞と人に優しい部門賞を併せて受賞した企業1社、総合部門賞とまちに優しい部門賞を併せて受賞した企業1社を選定した。また今年度は審査員特別賞を1社選定した。なお、過去に認定を受けたことがあり、今回再認定した企業が7社、新たに認定を受けた企業が3社であった。

総合部門賞とまちに優しい部門賞を受賞した広沢電機工業株式会社は各種の制御盤や動力盤の設計製作を手掛けている。主な納入先は通信会社や電力会社、鉄道会社、官公庁などでデータセンターをはじめ発電所、鉄道、上下水道など、様々な社会インフラを支えている。ISO14001を取得し環境への配慮や地域貢献活動に取り組み今回の受賞となった。

総合部門賞と人に優しい部門賞を受賞した株式会社三美テックスは各種の産業機械を設計製作している。とりわけ変圧器などに使う絶縁油を浄化する技術が秀でており、同社の真空浄油機は国内トップシェアを誇っている。化成品の液体の自動充填設備も手掛けしており定評がある。国籍を問わない人材育成や人事評価に優れており今回の受賞につながった。

審査員特別賞を受賞した電化皮膜工業株式会社はアルマイト、化成皮膜、硬質クロム、黒クロムといった表面処理を手掛けている。JISQ9100の認証を持ちMILスペックに準拠した工程を確立して高い品質保証体制を構築している。航空宇宙分野をはじめ幅広い分野に顧客を持つ。周辺環境への配慮を重視した操業姿勢なども評価され、今回の受賞となった。

大肯精密株式会社は水道やガス配管工事用工具の老舗メーカーである。穿孔関連技術に秀でているためユーザーからも高い評価を得ており、工事会社や自治体を中心に多くの取引先を持つ。配管工事に関わる新しい工法の開発とともに製品開発にも取り組み、特許も多数多く取得している。海外にも事業展開している。

株式会社グーテンベルクは2021年に創業した若い企業で高精度3Dプリンターの製造が事業の柱で販売を伸ばしている。なお、創業に際しては極東精機製作所など区内企業の支援があった。近年は加工事業部を設立し、半導体装置メーカーから自動車部品メーカーなどから機械加工部品を受注している。品質管理体制の充実を図っている。

有限会社里中精機は昨年度も優工場の認定を受けており、今年度は第4工場を認定した。同社は産業機械や生産ラインの消耗部品など小ロットの切削加工を事業の柱とし、創業以来培ってきた熟練技能と高度設備を融合させ高収益を実現している。新しいステージへの飛躍を目指した社内体制の整備の一環として第4工場を設置した。

三和打抜工業株式会社は創業以来パンチングメタルを専業としている。多品種少量生産と短納期対応が同社の特色の1つで、工程管理の柔軟性、創業のときから蓄積された経験による加工方法選択の迅速性がその土台と

なっている。若い後継者に経営が引き継がれ、創業100周年に向けて品質向上、人材の採用と育成について新しい方針を打ち出されている。

信和パーツ株式会社はパーツフィーダ設計製作の老舗であり、業界屈指の実績を持つ。パーツフィーダはボウルに入れた部品を空気圧や振動で整列、搬送する機器であり、ユーザーにとって部品の供給のタイミングと不良品の選別は効率性と品質保持には欠かせない条件になる。同社はボウルの形状設計に独特のノウハウを持ち、際立った評価を得ている。

株式会社北海鉄工所はスピニング加工に特徴があり、食品や薬品、石油化学製品に用いられるタンクの鏡板を製作している。ちなみに鏡板はタンクの蓋や底の部分で、同社が考案した冷間スピニング加工により業界でも定評がある高品質の鏡板の製作を可能にしている。従業員の待遇や若手技能者の育成にも配慮し、就業環境の向上にも努めている。

株式会社渡辺精機は丸モノの加工を得意とし、現在は光学機器や医療機器などの部品の超高精度加工を手掛けている。熟練技能を基礎に高度設備を駆使するとともに徹底した品質管理により品質の高い加工を実現している。後継者も経営に携わるようになり、工程管理の合理化や受注の多様化などに取り組んでいる。これから活躍が期待される。

日本は経済成長を続け繁栄を手に入れた結果、大幅なGDP増大が見込めない定常状態となった。それとともに中小企業が経営基盤を整える条件は厳しくなっている。国際情勢の影響を受け経営を取巻く環境は目まぐるしく変化している。中小企業の存続の道筋はこれまで通りと同じとはいはず、新しい道筋を模索し切り拓いていかなくてはならない。時代の潮流に対応して存続していくには創意を持って進歩を図り新しい事業機会を探っていくことは不可欠である。創意と意欲を持った経営を次世代に引き継いでいくには会社の統治や所有を含め、従来にとらわれない方策も探らなくてはならない。今回の認定企業はいずれも事業の発展のために力強い経営を続けている企業であり、次世代に向けた道筋を切り拓いている企業である。力強く前に進む中小企業は日本経済が直面する成長の天井を押し上げ、新しい繁栄をもたらし次の時代を築く担い手である。

事業創造大学院大学教授
里見泰啓



〈プロフィール〉

(株)開発計画研究所などを経て現職。専門は中小企業論。鵜飼信一早稲田大学名誉教授の指導の下で地域産業や中小企業への支援事業に携わり、産業支援型NPO(特非)ものづくり品川宿、(一財)新事業創生機構で理事長を務める。



広沢 電機工業 株式会社

【事業内容】配電盤・電子基板など電気機械器具の設計、製作・販売・修理

【福利厚生】独身寮、
産前産後・介護休暇制度など



最新技術と提案力で
インフラ構築に貢献するパイオニア

〒144-0034 大田区西糀谷2-13-14
TEL 03-3742-0261 FAX 03-3743-1641
代表者／佐々木 晃 従業員数／60人 創業年／1957年



代表者メッセージ

代表取締役社長 佐々木 晃

創業以来、70年近くにわたり通信・電力・鉄道会社など日本のインフラを支えるお客様に各種制御盤・動力盤等を提供しています。近年は、PLCプログラミング技術を活用して機能の高度化にも取り組んでいます。今後も、お客様の良きパートナーとして選ばれ続ける優良制御盤メーカーを目指し、次世代への技術継承とともに成長・発展してまいります。



～company history～

年	事柄
1957年	大田区西糀谷にて 廣澤電機工業(株)として創業
1959年	大阪営業所を開設
2006年	ISO9001、ISO14001認証取得 (2015年版規格に対応済み)
2009年	大田区「優工場」認定取得 (2014年、2025年認定)
2010年	一般建設業許可(東京都知事)
2014年	商号を広沢電機工業(株)に変更



SDGsへの取組

省エネナビゲーションシステム「DiAs」を開発・製品化し、大型商業施設、市庁舎、研究所等の消費エネルギー削減に寄与。製造工程で出る電線廃棄率低減活動を実施。



当社を支える 頼もしい「人財」

相手に分かりやすい伝え方と
コミュニケーション力を養う

製品の検査を担当し、図面通りに製作できているか、電気回路は正しいかなどを確認しています。入社当時は説明するのが苦手でしたが、お客様が実際に来社しての検査や、後輩への指導を通して、相手に分かりやすい伝え方とコミュニケーションスキルが身につきました。今後も自身のステップアップと後輩の育成に力を入れていきたいです。

製造部／照田 智徳
2009年入社

電気分野への理解が深まり
世間への貢献を実感

お客様のニーズに合わせた制御盤を実現するため、技術社員との間に円滑に業務が遂行できるように活動しています。電気の分野は奥が深いのですが、5年の歳月の中で少しづつ理解が深まり、世間への貢献ができたと感じます。社内の風通しが良く、困難があっても社員同士の助け合いと協力で乗り越えられることに魅力を感じています。

営業部／玉井 英樹
2020年入社

株式会社 さんみ 三美テックス

【事業内容】流体処理装置、産業用省力化

自動機の製造、販売、保守

【福利厚生】産休育休制度、宿泊施設・

飲食店優待サービス、誕生日お祝い



〒146-0092 大田区下丸子2-14-3

TEL 03-5482-2101 FAX 03-5482-2432

代表者／田丸 剛典 従業員数／59人 創業年／1950年



代表者メッセージ

代表取締役 田丸 剛典

創業75周年となった節目の年に3回目の「優工場」認定をいただき、また「総合部門賞」と「人に優しい部門賞」のダブル受賞ができたことを本当に嬉しく思います。これまで三美テックスに関わっていただいたお客様、お取引先様、社員全員に感謝し、今回の優工場受賞を励みとして、今後も『100年企業』を目指して精進を重ねていく所存です。



～company history～

年	事柄
1950年	川崎市中原区新丸子にて会社設立
1952年	目黒区都立大学に工場を移転
1997年	大田区下丸子(現在地)に工場を移転
2014年	建設業「機械器具設置工事業」の免許取得
2018年	ISO9001認証を取得
2025年	ISO14001認証を取得

SDGsへの取組

創業以来、地球環境保護や資源の有効活用と省力化を見据えた技術開発に努めている。国籍・男女に関わらず職種も役職も全員平等を徹底している。



それぞれの持ち場で活躍する若手社員

どの部署の誰に質問しても丁寧に教えてもらえる

仕入品の発注書発行や納品受入・集計作業などの仕入業務に加え、電話応対等の事務業務も行っています。社内の、どの部署の誰に質問しても丁寧に優しく教えてくださるような、人間関係の良さが当社の魅力だと思います。また、社内だけでなく仕入先様をはじめとする様々な方と接する機会が多いため、コミュニケーション力が養われました。



資材部
2022年入社

受注生産型の一貫体制。第3工場も完成

電力関連機器、家電関連機器、充填機など、仕様の異なる様々な装置のオーダーに対し、設計から製造・据付・試運転・保守までの一貫体制で行っています。本社工場では流体処理装置を扱い、第2工場(江戸川区)では省力化自動ラインを製造。本社工場の近くに完成したばかりの第3工場は、小型製品の製造に加えて研究開発施設「三美ラボ」としての機能も果たす予定です。



世界69カ国及び地域に輸出。積極的な環境整備活動



当社の流体処理装置は、国内のみならず海外の電力関連会社からも高い評価を得ており、現在、世界69カ国及び地域に輸出しています。一方、社内では毎朝30分間、全社員参加の環境整備(5S活動)を30年以上継続しています。本年度からは内容をさらに強化し、会社を1日休業してチーム毎に半年分の実行計画を立て、生産性の向上とチームワークの醸成を図っています。

顧客満足度を高め、社員教育にも力を入れる

創業75周年を機に、先代が行っていたステークホルダーとの経営計画発表会を再開し、顧客満足度を高めています。また、ISO9001およびISO14001に基づき、各個人のスキルマップと年間教育計画を作成。OJTによる技術継承や年に1度の社内研修会(2週間程度)に加えて、外部研修への参加も積極的に促し、社員の成長につなげています。



製造部
2016年入社

一連の作業に携わる中で総合的な機械知識を得た

浄油機、封入機などの流体関係の装置組み立て、配線、運転調整、出荷から、お客様先での設置、試運転、メンテナンスまで、一連の作業に携わっています。電気や情報の分野にも触れる機会があるため、総合的な機械知識を身につけることができました。新たな分野に取り組む機会が増えたことでチャレンジ精神が向上したと感じています。



製造部
2016年入社

電化皮膜 工業株式会社

【事業内容】アルマイト・化成皮膜・めっき表面処理

【福利厚生】通勤費支給、特別休暇、産前産後・介護休暇制度



表面処理技術で
ものづくりの活性化と
発展に寄与

〒146-0093 大田区矢口3-5-10
TEL 03-3758-3321 FAX 03-3759-9666
代表者／秋本 恭一 従業員数／35人 創業年／1947年



代表者メッセージ

代表取締役 秋本 恭一

私の考える企業経営を一言でいえば「継続」です。創業78年を迎えた当社は『100年企業』を目指しています。経営者がワクワクするような会社にしたい思い、従業員が仕事にやりがいを持つことで職場がイキイキすると、納期・品質共に良いものができるお客様がニコニコされます。このトライアングルを大きくすることが「継続」につながると考えています。



～company history～

年	事柄
1947年	電化鍍金工業所として大田区矢口に個人企業を設立
1973年	社名を電化皮膜工業株式会社(資本金10,000万円)に変更
1997年	秋本恭伸が2代目代表取締役社長に就任
2009年	JISQ9100:2004認証取得(航空・宇宙規格)
2018年	秋本恭一が3代目代表取締役社長に就任

表面処理専門業で数少ない「JISQ9100」を取得

1947年の創業以来、約80年にわたり、航空部品、防衛装備品、半導体部品などに施すアルマイト化工やめっき化工等の表面処理を行っています。2009年には航空宇宙・防衛向けの品質マネジメント規格「JISQ9100」を取得。この認証を取得している企業は全国でも500社しかなく、そのうち表面処理専門企業は10社程度しか存在していません。品質要求が厳しく、処理工程のチェック項目が多い審査に毎年合格している品質の高さが強みです。



国際規格「MIL スペック」に準拠した工程

航空機や人工衛星等に使用される部品には厳格な国際規格があります。当社では、過酷な環境にも耐え得る「MILスペック」に準拠した工程を確立し、品質の安定化を実現しています。また、特許を保有している半導体金型への表面処理や、スペック以外の独自技術にも定評があり、約350社のお取引先に毎月1万点以上を提供。お客様の「困った」に寄り添い、迅速で的確な解決策を提案しています。



多能工化を実現し多様な顧客ニーズに対応

コロナ禍での経験から、一人が複数の工程を担当できるローテーションを組み、業務の効率化を図っています。10年かけたベテラン技能者からの技能伝承も終了し、現在は多能工化を実現。全員が一定のレベルで作業に取り組むことができます。若い社員が活躍する社内は活気にあふれ、抜群のチームワークでお互いに助け合いながらお客様の多様なニーズに対応しています。



SDGsへの取組

環境配慮型の製造を追求するため、CO2削減や環境負荷を軽減する新しい環境配慮型設備に交換。廃薬品などは専門業者に依頼して再利用を行っている。



日々研鑽を積む 社員たちの“今”

仕事量が多くても社員間で
カバーし合えるので安心

未経験の状態で入社しましたが、全ての処理工程を制覇し、現在は染色のアルマイトに携わっています。黒以外のカラーの染色は濃度と色調を自分でコントロールする必要があるため、サンプルに合わせるのが難しくもあり、腕の見せどころでもあります。仕事量が多くても、社員間でカバーし合える環境があるので個人的に悩むことはありません。



茂木 宗之
2012年入社

技術力向上のための
挑戦をさせてもらえる

硬質アルマイトのラッキングやマスキング、電解、検査等を行っています。自由に仕事をさせてもらえるため、気持ちに余裕を持てるようになりました。技術力向上のための挑戦ができたり、前日の申請でも休みを取らせてもらえるなど、当社には社員思いの環境があります。さらに技術・知識を向上させて会社に貢献したいと思います。



高橋 和也
2018年入社

おおさき 大崎精密 株式会社

【事業内容】ガス・水道等の配管工事に使用する工具類の開発設計・製造販売

【福利厚生】完全週休2日制、年間休日126日、産前産後・介護休暇制度



ガス・水道工事の
効率と安全を技術で支える会社

〒146-0081 大田区仲池上2-19-6
TEL 03-3755-3311 FAX 03-3755-1918
代表者／大崎 和夫 従業員数／50人 創業年／1948年



代表者メッセージ

配管・インフラ用工具のメーカーとして、社会の「安心・安全・暮らしの基盤」を支える責任を自覚しております。環境・安全・使いやすさという観点を製品設計・製造工程・事業活動のすべてに統合し、企業としての社会的責任を果たしていくたいと考えています。



代表取締役社長 大崎 和夫

～company history～

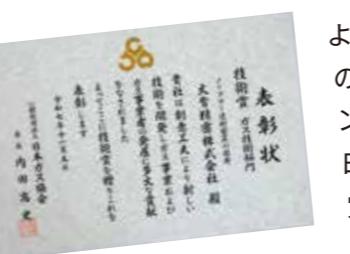
年	事柄
1948年	現在の大田区仲池上の敷地に大崎製作所を開業
1954年	業務の進展に伴い、株式会社大崎精密工具製作所として改組
2000年	ISO9001認証取得
2001年	ISO14001認証取得
2025年	「ノーブロー遮断工法」を開発し、社団法人日本ガス協会より技術賞を授与される

一貫工程による堅牢性・耐久性に優れた製品

ガス・水道の整備工事を、独自の技術を用いた工具や工法で支えていくことを使命とし、「穿孔機」をはじめとした製品の設計・製造・組立・販売の一貫工程を整えています。ガス事業者との共同開発の歴史が古く、主な取引先は日本各地の都市ガス会社と各自治体の水道局です。堅牢性・耐久性に優れた製品は狭い工事現場での厳しい使用条件に耐えられる品質を有し、全国で高いシェアを獲得。配管への穿孔品質を高める特異性の高いドリルの製造技術にも定評があります。



新製品の開発などで「技術賞」を多数受賞



軽量・コンパクト化を実現した「グリフォン」は、どなたでも安全・確実な穿孔作業が可能な水道用電動穿孔機です。従来は手動でハンドルを回していた穿孔作業がスイッチを入れるだけ可能なため、作業者の力加減によるばらつきがありません。1948年の創業以来、安心・安全なライフライン整備に貢献してきた当社は、毎年、日本ガス協会が授与する技術賞を受賞し、2025年はガス事業者との共同開発品で獲得しました。

グローバルな展開と働きやすい職場環境

台湾やベトナムをはじめとした海外でも当社の工具が用いられ、その品質の高さとカスタマイズ性で大きな信頼を得ています。一方、年間休日126日で残業も少ないなど、働きやすい職場環境も特徴です。社員はワークライフバランスを保ちながら、それぞれの業務に責任を持って取り組んでいます。



SDGsへの取組

お客様、協力会社、社員など、すべてのステークホルダーの立場を尊重。環境に配慮した商品の購入、ごみ排出量の削減、ペーパーレス化などを推進、カーボンニュートラルにも取り組む。



社員が語る 当社の「働きやすさ」

プライベートな時間を しっかり取れるのが魅力

土日祝日がお休みなのは製造業では珍しいと思います。残業もほぼ無く、有給休暇の申請もしやすいので、プライベートな時間がしっかり取れてありがたいです。製造に関する知識はありませんでしたが、工具の使い方や電動工具の組立て方を細かく教えていただいたことで、今では一人で対応できるようになりました。



製造部組立課／
渡辺 佳菜
2015年入社

プログラムや工具の 知識をさらに深めたい

5軸マシニングセンターと横型フライスを担当し、自らプログラミング操作や切削工具の選択などができるようになりました。部署内には相談しやすい雰囲気があり、コミュニケーションも良好です。これからもプログラムや工具に関する知識を深め、さらに効率の良い生産ができるようにがんばります!



製造部製造課／
生井 和輝
2010年入社

株式会社 グーテン ベルク

【事業内容】産業用FDM方式3Dプリンターの開発・製造・販売

【福利厚生】家賃補助・特別休暇、産前産後・介護休暇制度



〒144-0031 大田区東蒲田2-1-15
TEL 03-6428-6075 代表者／李 丞株
従業員数／26人(アルバイト+パート込み) 創業年／2021年



代表者メッセージ

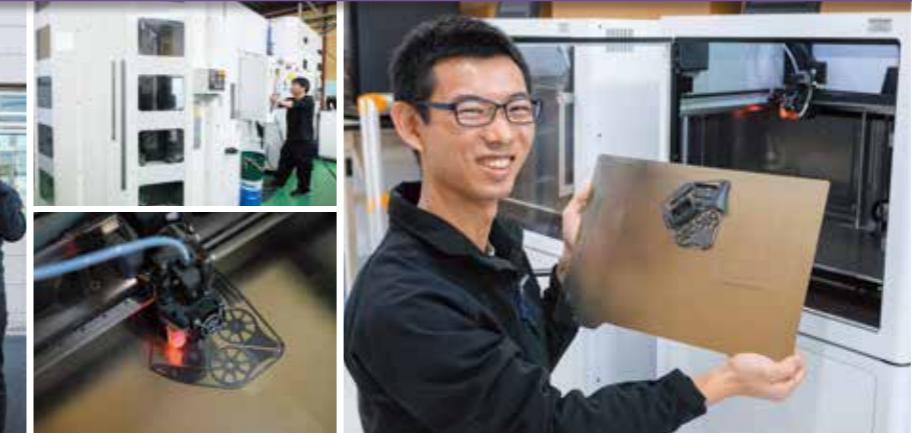
代表取締役 李 丞株

これまで社内製品の加工が中心でしたが、現在は依頼元とのやりとりといった間接業務にも携わり、非常に貴重な経験をさせていただいております。今後は受託加工ならではの多品種加工を通じて、技術力の向上と柔軟な対応力を磨いていきたいと思います。



～company history～

年	事柄
2021年	創業
2022年	「G-ZERO」販売開始 大塚化学共同開発開始
2023年	大塚化学との資本業務提携拠点を現在の住所に移転
2024年	「G-ZERO L1」販売開始 大田区羽田に拠点開設
2025年	新機種PEEK対応機 「G-ZERO MP1」先行販売開始



SDGsへの取組

加工機の使用時に発生する切削油や人間に有害な成分を除去するミストコレクターを導入。金属加工の切りくずを圧縮し、運搬回数を最大75%削減する装置を導入。



ものづくりを楽しむ 加工・開発メンバー

コミュニケーションの 取りやすさが魅力

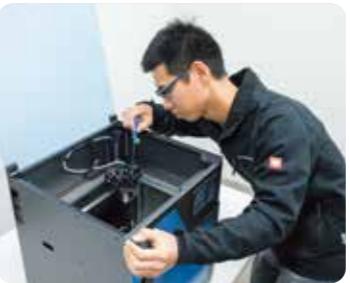
当社には、人間関係が良好でコミュニケーションが取りやすく、年齢差があつても接しやすい環境があります。切削加工をメインとしているため、3Dプリンターによる積層造形が非常に新鮮で、技術的な面白さとものづくりの新たな視点を得られています。最近は顧客対応などの間接業務にも携わり、非常に学びの多い日々を過ごしています。

加工事業部／
白石 芳信
2025年入社



各種製造業の知見を活かした一気通貫体制

創業以来、産業用3Dプリンターに特化した開発を行っています。小規模ながら、設計・開発・製造から販売・サポートまで、メーカーとしての機能を社内に備えた一気通貫のものづくり体制を整備。自動車・加工機・電気など、広く製造業界から開発メンバーが集まり、3Dプリンターという歴史の浅いプロダクトに各業界の知見を注いでいます。ハードウェアだけでなく材料も開発し、ハード・ソフトウェア、マテリアルの三位一体の開発体制を実現しています。



超高速・高精度・高強度造形を実現する製品



国産の金属切削フレームや駆動パーソを用いた3種類の「G-ZERO」シリーズは、超高速、高精度、高強度造形を実現する産業用3Dプリンターです。特に、従来の課題であった積層間結合の弱さを克服し、造形後すぐに実用可能なパーツを製作できることが強みです。エンジニアリングプラスチックにも対応し、コンパクト設計でオフィスや工場のラインに気軽に設置できるため、お客様の作業環境に必要な治具やスモールパーツを簡単に追加することができます。

充実の保守サポート。人材育成にも積極的

初回の設置・トレーニングから専門スタッフによるテクニカルサポートやトラブル対応など、手厚いサポートを用意しています。また、大学や企業と連携した製品開発を積極的に行い、デジタルツールを活用して生産性を強化。各社員へのスキルアップ機会の提供はもちろん、若手社員への技能継承にも力を入れています。



常にものづくりの 話題が尽きない職場

ものづくりに関心の高い者が集まり、ねじ一つでも「このメーカーが良い」「この締結にはこの材種が良い」と話に花が咲いています。日頃の雑談までもものづくりの話題にあふれる職場は珍しいのではないでしょうか。当社は各方面から期待されていますので、5年、10年と認め続けられる工場を目指し、その支えとなるように努めていきたいと思います。

開発部／三浦 琢
2023年入社

有限会社 里中精機 第4工場

【事業内容】精密金属加工部品の製作
【福利厚生】マイカー出勤可能、
産休育休制度、残業月30時間以内



躍進を続ける
精密金属部品加工の
スペシャリスト

〒144-0054 大田区新蒲田1-22-6
TEL 03-3735-7120 FAX 03-6681-6461
代表者／中村 裕樹 従業員数／21人 創業年／1979年



代表者メッセージ

企業理念として「次につながる加工」を掲げています。点でしかない仕事を線にしていくために、できない加工もできるように頭を使い工夫するのが得意です。取引先も順調に増え続けていますので、他の加工ができるような加工機も増やして更なる発展を目指してまいります。



代表取締役 中村 裕樹

～company history～

年	事柄
1979年	創業
2004年	先代中村政之から 2代目中村裕樹が代表となる
2014年	本社工場 大田区「優工場」認定 (2019年、2024年認定)
2017年	第3工場を新設
2021年	大田の工匠 「Next Generation」受賞
2022年	第4工場を新設



4 工場を有し複雑形状や難加工にも対応

昔ながらの匠の技と最新の加工技術で、単品小ロット製品から量産品まで幅広いニーズに対応しています。大田区に次々と工場を確保し、第4工場(本羽田／テクノWING内)に最新の5軸複合加工機を導入。1台でフライス削り、旋削、研削など様々な加工を可能にする機械を用い、ピンやシャフトなどの「丸物」をはじめ、複雑な形状の加工を高精度で実現しています。また、他者が手掛けづらい削り出しや溶接後の切削といった難加工にも対応しています。



オリジナルブランド「Diamond Ride」

2024年から、バイク用のカスタムパーツブランド「Diamond Ride」を展開しています。無垢材の削り出しや肉厚パイプ加工といった当社の強みを活かしたアイテムは、純正品よりも剛性の高いのが特徴です。商品ライ

ンナップも徐々に充実しつつあり、当社店頭やオンラインショップ、SNSでの販売も好調。BtoCでの取引件数も増加傾向にあるため、カタログ制作やバイクショーへの出展も視野に入れて取り組んでいます。



SDGsへの取組

環境に優しい切削油の使用。社内照明のLED化。本社及び第2工場にソーラーパネルを設置。



現場を代表する 工場長からの一言

5軸複合加工機の 技術を磨いていきたい

複合加工機、5軸複合加工機を使用した加工に取り組んでいます。新しい機械に触れ、今までの技術と新たに覚えた技術を組み合わせて、より複雑な加工ができるようになります。自社ブランドも立ち上げましたので、製品開発と同時に5軸複合加工機の技術を磨いていきたいと思います。

第4工場工場長／
西堀 宏
2014年入社



大田区のネットワークを活かした一括受注

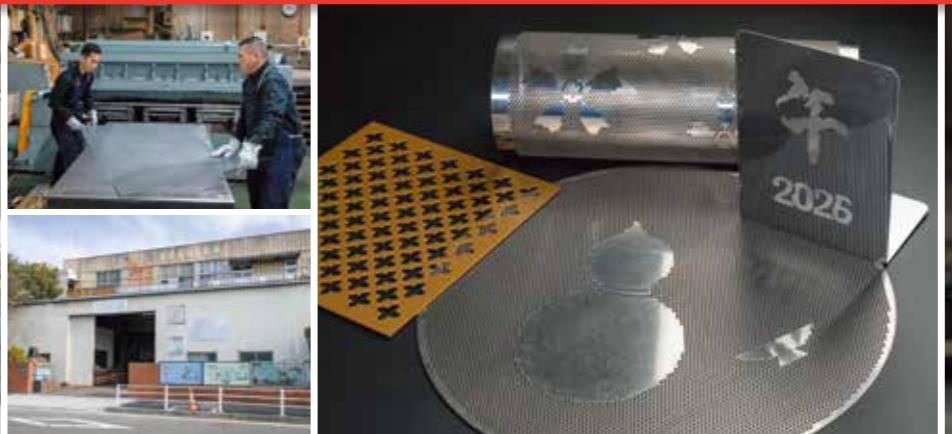
大田区のネットワークを活かして完成品までサポートできる体制を整えています。細穴放電加工、溶接、表面処理なども一括で受注できるため、コストダウンを図ることが可能です。また、技術・技能の伝承にも力を入れています。全社員が最低2台を扱えるように機械と工程のローテーションを組んで多能工化を推進することで、チームワークも高まっています。



三和打抜 工業 株式会社

【事業内容】打抜金網「パンチングメタル」の製造販売及び金属製品の加工

【福利厚生】産前産後・介護休暇制度、食事補助、資格取得支援制度、バイク通勤可



創業100年越えの伝統と技術を誇る
パンチングメタルの専門メーカー



〒143-0003 大田区京浜島2-7-13

TEL 03-3790-1921 FAX 03-3790-1925

代表者／藤田 大輔 従業員数／11人 創業年／1932年



代表者メッセージ

代表取締役 藤田 大輔

長年の歴史と経営改善の取り組みをご評価いただき、大田区優工場の認定を受けることができました。これまで弊社に携わったすべての従業員の皆様、ご支援くださったお取引先様、地域の協力会社の皆様に対し、心より感謝申し上げます。これからも地元企業との連携を強化し、地域・社会への貢献ができるよう、成長し続けられる企業を目指してまいります。



～company history～

年	事柄
1932年	初代代表の藤田福太郎が港区にて創業
戦後	加工技術を確立し基盤を構築
1983年	2代目代表の藤田穂が大田区京浜島への工場移転を決断 当時としては大規模な設備導入により生産能力が大幅に向上
2025年	現体制に移行。デジタル化の推進、経営の改善に着手

伝統の技術を活かしたパンチングメタル加工

1世紀を超える伝統の技術で打抜金網「パンチングメタル」の製造・販売を行っています。工場には3タイプのプレス加工機を各2台導入し、鉄・アルミニウム・ステンレス等の板厚0.5mmから3.2mmに対応。丸孔、長孔、角孔、装飾孔といった多様な孔の形状・パターンや平坦度を維持した加工など、パンチングメタルに求められる条件を全てクリアしています。意匠性の高さと優れた機能性を併せ持つ当社の製品は、建材、農具、産業用機器関連など幅広い分野で採用されています。



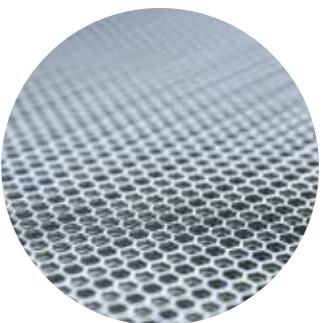
金型の豊富な種類と緻密な調整技術が強み

当社の強みは、製品の仕上がりに大きく影響する「金型」の豊富な種類と緻密な調整技術にあります。50年以上の経験を持つ職人たちによる手作業での金型調整は、他社の追随を許しません。また、1枚の特注品から量産品まで、お客様の多様なニーズに対応し、品質・コスト・納期の全てを追求。特に、迅速な短納期対応に定評があります。



徹底した品質管理。ワンストップサービスも

徹底した品質管理体制を整え、曲げ・溶接・表面処理なども近隣の協力会社と連携して、ワンストップサービスを実現しています。また、技術・技能継承にも力を入れ、一人1台の機械を担当する形で専門性を高めつつ、多能工化を目指しています。社員同士が意見交換をしやすい職場環境が若手社員を育て、会社の成長につなげています。



SDGsへの取組

大田区・品川区・神奈川県内の協力会社との連携を強化し、地元経済の活性化や雇用の維持に貢献することを目指す。



社員が感じている 当社の魅力

その都度助け合いながら
ものづくりに向き合える

パンチングメタル加工という専門性の高い仕事に魅力を感じたことに加え、少数精銳の職場で一人ひとりが顔を合わせ、コミュニケーションを取りながら働ける環境に惹かれて入社しました。急な案件が入ることがありますが、その都度相談し合いながら対応できる柔軟さがあります。自分のペースを大切にしつつ、助け合いながらものづくりに向き合える点が魅力です。



製造部／権本 拓実
2018年入社

信和パート 株式会社

【事業内容】 パーツフィーダボウル製造
【福利厚生】 昼食弁当を月2千円で支給、
独自の有休休暇制度



〒146-0085 大田区久が原5-2-13
TEL 03-3753-1616 FAX 03-3755-1430
代表者／高島田 政紀 従業員数／11人 創業年／1960年



代表者メッセージ

代表取締役 高島田 政紀



当社は、信用と和を礎に確かな技術で社会の自動化発展に寄与することを企業理念とし、「技術に真心を、製品に品質を」「見えないとこほど丁寧に」「課題は必ず解決できる」をモットーにしています。今後も更なる高精度・高安定のパーツ供給技術を追求し、多様なワークへの対応力を向上させてまいります。また、技術者育成と組織力の強化にも努め、お客様との共創による課題解決企業を目指します。

～company history～

年	事柄
1957年	世田谷区にて高島田研究所を設立
1960年	信和パート株式会社設立
1963年	工場を現住所(大田区)に移転
1969年	本社を現住所に移転



SDGsへの取組

近隣への防音対策として1階の住宅側の窓に二重窓を採用。社内の電力使用量を見える化するシステムを導入。作業で出る端材を分別して再資源化している。



成長を続ける 技術者たちの思い

過去の経験の応用や 新たな発想でスキルアップ!

型紙に合わせてステンレスの板を切り出し、曲げたり削ったりしながらパーツフィーダボウルを製造しています。同じ作業の繰り返しではなく、仕事のたびに過去の経験の応用や新たな発想で取り組めるので、スキルアップできて楽しいです。今は先輩に教えていただくことが多いですが、早く自らの発想で製品を実現

できるように成長したいと思って
います。

製造技術部／
菅原 暢亮
2023年入社



ワークや工程に合わせた完全受注生産

1957年の創業以来、およそ70年にわたりパーツフィーダボウルの製造を行っています。パーツフィーダは、ペットボトルの蓋やプラスチック容器のハンドルといった部品を自動で整列させる装置で、主に食品・薬品・自動車などの製造ラインに使用されます。当社は、ワークの特性や工程に合わせた完全オーダーメイド設計により、大小様々な部品の最適な姿勢制御と供給スピードを実現しています。

1台ごとに一人の技術者が責任をもって担当

パーツフィーダボウルは常に1点ものとして製作されるため、専門的な知識と経験値が重要になります。また、設計図は製造者の頭の中にしかなく、仕上がりのイメージに基づいて製品を形にするため、1台ごとに一人の技術者が責任を持つて担当しています。40年以上のキャリアを誇るベテラン技術者を中心に、それぞれが蓄積したノウハウを活かし、詰まりや姿勢不良を抑えたストレスフリーの製品を提供しています。



若手社員を育成するフォローアップ体制

単なる理論や図面では表現できない手作り作業のため、社員育成はOJTを中心に行っています。また、取引先に営業と同行し、現場の技術や作業工程を直接見て学ぶ機会も取り入れています。基本的に個人製作になりますが、若手社員には先輩や同僚に相談できる万全のフォローアップ体制で成長を促しています。昼食代の補助や、融通の利く独自の有給休暇制度など、社員が働きやすい職場環境づくりにも積極的です。



アットホームな環境の中で 作業に集中できるのが魅力

会社見学の際、実際にパーツフィーダが稼働している様子や、すべて手作業で製品が作られている現場を見て、自分も技術者として挑戦したいと感じ入社しました。アットホームな雰囲気の中、材料の切断から曲げ加工、研磨、溶接、バリ取りまで一連の製造加工に携わり、黙々と作業に集中できる点に魅力を感じています。

日々、技術の向上を感じています。



製造技術部／大湾 奎冬
2023年入社

株式会社 北海 鉄工所

【事業内容】鏡板(タンクの蓋と底の部分)
の製造

【福利厚生】年間休日120日以上、資格
取得支援制度、地域手当、家賃補助

卓越した技術であらゆる産業を支える
「鏡板」の専門メーカー



〒144-0033 大田区東糀谷6-4-14

TEL 03-3745-1116 FAX 03-3745-1119

代表者／林 孝彦 従業員数／12人(東京工場) 創業年／1946年



代表者メッセージ

執行役員 管理部部長 林 起也

今年度は「全力で時代を切り拓く～
Advance to the 100th!」を重点方針とし、お客様へのサービス強化をはじめ、安全・品質・危機管理の徹底、コミュニケーションの展開、考動・教育・訓練の推進を図っています。これからも「ものづくり」を通して社会に必要とされる企業であり続けるために、環境の変化に対応し、一層の努力を重ねてまいります。



～company history～

年	事柄
1946年	林溶接工業所を大阪にて創立
1955年	株北海鉄工所に改組
1970年	岸和田にて関西ステンレスセンター創立(GR会社)
1972年	大阪岸和田に工場移転
1986年	大田区東糀谷に東京工場設立
1994年	中国江蘇省に宜興北海封頭有限公司を設立



最高品質・絶対納期で業界シェア No.1

各種プラントや圧力容器の蓋と底に使用される特殊形状部材「鏡板」の専門メーカーとして、業界シェアNo.1を誇る北海グループ。東京工場では主に材料を回転させながらローラーで変形させる「スピニング絞り工法」によって製造しております。

同工場では、主に飲料・薬品業界向けのステンレス製品を扱い、ガス・石油タンク等に使用する鉄製品にも対応。当社の製品がJIS規格の標準でありながら、社内でさらに厳しい公差基準を設けて品質を高め、納期を厳守することで、お客様から信頼をいただいている。



多能工を目指し、人材育成に注力

品質・安全管理に関する会議を毎月行い、損益情報についても月2回のミーティングで情報を共有しています。また、東京工場は社員数が10人余りの少数精鋭のため、お互いに助け合い、苦手な作業にも挑戦する文化が



育っています。多能工化にも積極的で、1人2機種以上のオペレーターを完全兼任できるよう教育を実施。技術のみならず、ビジネスマナーやコミュニケーションに関する研修も本社を通じて行っています。

SDGsへの取組

本社工場のSDGs委員会を主体に、国内グループ全てのチームで活動を実施。東京工場では、屋根塗装変更による工場内気温低減により、冷房の省エネ化に取り組んでいる。



高度な技術に取り組む 若きホープ

溶接等の技術が向上し 資格取得で知識も深まる

被覆アーク溶接、炭酸ガス溶接、TIG溶接、プラズマ溶接などをはじめ、研磨作業や切断作業にも取り組んでいます。現場での経験を通して、それぞれの精度とスピードが格段に向上しました。知識面でも勉強会や資格支援制度を活用して多数の資格を取得でき、知識が深まりました。当社は常に自分で考えて行動できるため、個人の能力がかなり向上すると思います。将来の目標は、他事業部の業務にも積極的に携わり、会社全体に貢献できる存在になることです。そのため、まずは現場のリーダーになることを目指しています。

松元 優斗
2013年入社



やりがいとワークライフバランスを実現

取引先が食品・薬品・インフラ関係と多岐にわたるため、自分の仕事が日本の産業を底支えしているという自負を持って働くことができます。年間休日も129日と多く、残業や土日出勤はほとんど発生していません。社員は定時内で「満足のいく品質」を維持しながら業務に取り組み、ワークライフバランスを実現しています。



株式会社 渡辺精機

【事業内容】超精密部品の試作・切削加工
【福利厚生】資格取得制度、家族手当、産前産後・介護制度



高品質・高精度切削加工を
得意とする技術者集団

〒143-0015 大田区大森西2-9-6
TEL 03-3761-7535 FAX 03-3761-6450
代表者／渡辺 穣 従業員数／20人 創業年／1956年



代表者メッセージ

専務取締役 渡辺 達大

創業から70年近く大田区で「試作と精密切削加工」にこだわり続けてきました。安心・安定した製品を提供し続けることで、お客様との永続的な信頼関係を築き、それが社員の自信と更なる成長への大きな原動力となっています。これからも地域とともに歩み、次世代につながるものづくり企業として進化を続けてまいります。



～company history～

年	事柄
1951年	大田区大森にて創業
1956年	大田区大森西に有限会社渡辺精機製作所設立
1997年	本社工場新築
2001年	株式会社渡辺精機に変更 大田区萩中に第2工場新設

様々な機械を組み合わせた高精度切削加工

創業から70年近く大田区で「試作と精密切削加工」にこだわり続けています。光学・医療・真空・OA機器など、多様な分野の精密部品を扱い、旋盤やマシニングセンター、複合加工機などを組み合わせた高精度切削加工を強みとしています。また、急な発注や他社が手掛けづらい加工にも柔軟に対応。お客様のニーズに沿って最適な素材や加工方法、コストなどを検討し、提案しています。



±0.005mm精度を実現し難加工にも対応

新たにCNC旋盤を2台導入し、ステンレス、アルミニウム、真鍮の材料を中心に±0.005mm精度の加工を実現しています。薄肉・微細加工といった



難易度の高い形状にも強く、中でも真円度や同軸の精度が求められる丸物切削加工に定評があります。独自に開発した治具・工具を用いた製品は、大手メーカーの試作から小ロット量産まで、幅広い案件で採用されています。

SDGsへの取組

設備稼働の最適化による電力使用量の削減。消費電力の可視化。切粉などの端材リサイクルの徹底など。



高い志で精進している 若手社員

問題点を自ら見つけて改善する力がついた

分からぬことを聞きやすい環境と、失敗してもフォローしてもらえる安心感があります。若手にも積極的に挑戦のチャンスを与えてもらえる点も魅力です。そのため、加工技術はもちろん、問題点を自分で考えて改善する力がつきました。先輩と一緒に加工方法を検討することで発想力が広がり、自信を持って仕事に取り組むことができています。今では難易度とリスクの大きい「追加工」と呼ばれる仕事も任されるようになりました。

濱村 礁輝
2021年入社



柔軟な生産体制。技術継承にも積極的

工程管理のデジタル化に取り組み、2025年に生産管理システム「MonoRevo」を導入。負荷状況をリアルタイムで可視化することで、短納期案件にも柔軟に対応しています。また、「人こそ技術をつくる」という考えのもと、技術継承や多能工化に力を入れ、社員一人ひとりが誇りを持って働く環境づくりに取り組んでいます。



認定工場MAP



令和3年度▶▶▶令和7年度

令和7年度

- ① 広沢電機工業株式会社
- ② 株式会社三美テックス
- ③ 電化皮膜工業株式会社
- ④ 大肯精密株式会社
- ⑤ 株式会社グーテンベルク
- ⑥ 有限会社里中精機
- ⑦ 三和打抜工業株式会社
- ⑧ 信和パーツ株式会社
- ⑨ 株式会社北海鉄工所
- ⑩ 株式会社渡辺精機

令和6年度

- ① 木田工業株式会社
- ② 堀越精機株式会社
- ③ 株式会社フルハートジャパン
- ④ 有限会社伊藤工業製作所
- ⑤ 大森精密工業株式会社
- ⑥ 力ネモク工業株式会社
- ⑦ 株式会社小池製作所
- ⑧ 有限会社里中精機
- ⑨ 株式会社三陽機械製作所
- ⑩ 東洋電熱株式会社
- ⑪ ハネダ株式会社
- ⑫ 宮城精工株式会社

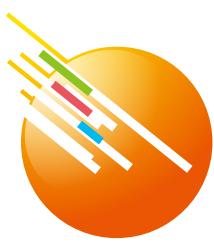


令和4年度

- ① 株式会社品川測器製作所
- ② 昭光機器工業株式会社
- ③ 株式会社新興化学
- ④ アロニクス株式会社
- ⑤ 協和工業株式会社
- ⑥ 株式会社コトブキ
- ⑦ シナノ産業株式会社
- ⑧ 株式会社志村精機製作所
- ⑨ 株式会社城南
- ⑩ 日新電気株式会社

令和3年度

- ① 株式会社酒井製作所
- ② 株式会社エース
- ③ 株式会社ハタダ
- ④ 株式会社三和産業
- ⑤ 株式会社極東精機製作所
- ⑥ 株式会社熊井製作所
- ⑦ 株式会社ニイヅマックス
- ⑧ 株式会社豊樹脂



優工場
大田区



東京都大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ (PiO)
TEL 03-3733-6109
FAX 03-3733-6459
URL <https://www.pio-ota.jp/>

